



社の字を図案化した社協のシンボルマーク

いちかい 社協だより

発行兼編集
社会福祉法人
市貝町社会福祉協議会
市貝町市場1720-1
市貝町保健福祉センター内
電話 68-3151(代)
FAX 68-3553
<http://www.ichikai-shakyo.org/>

市貝町社会福祉協議会は町民の協力によって運営されている福祉を進める民間の団体です。

福祉巡回車が地域を走ります

平成29年3月3日に、(一社)生命保険協会栃木県支部様より、福祉巡回車輦として軽自動車1台(スバルブレオ)が社会福祉協議会に寄贈されました。生命保険協会栃木県支部様からは、今回の車輦で2台目の寄贈になります。

寄贈された車輦については、総合相談支援センターの巡回相談用車輦として活用をさせていただき、寄り添い支援をさらに展開していきます。

また今後、住民向け車輦貸出事業など有効活用を検討していきたいと思っております。



寄付・善意のおくりもの・フードバンクへの寄付

善意のおくりもの

H28.12月～H29.3月		
市場	永島 イク	ポップコーン用とうもろこし(学童保育へ)
退公連	市羽地区	タオル 42本
赤羽	永島 朋子	チャイルドシート
笹原田	枝川 千代子	チャイルドシート 2台
市場	高木 研一	調理器具(配食サービスへ)
市場	吉葉 真由美	チャイルドシート

(敬称省略)

善意の寄付

H28.12月～H29.3月		単位=円
市貝町カラオケ連合会		50,000
いちかいシニアアクティブクラブ		17,850

(敬称省略)

フードバンク・困窮世帯へ

H28.12月～H29.3月	
匿名	中古冷蔵庫・洗濯機
匿名	果物(歳末たすけあい事業へ)
匿名	食材(歳末たすけあい事業へ)
匿名	衣類

(敬称省略)



平成29年度市貝町社会福祉協議会

事業計画・予算



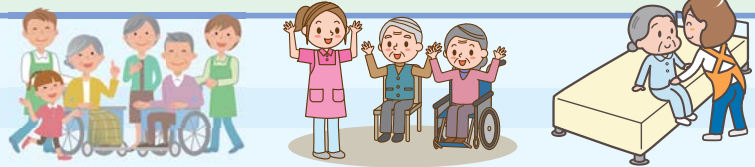
3月24日開催の理事会、3月28日開催の評議員会において、平成29年度の実業計画及び予算が承認されました。

本会では、町地域福祉活動計画に基づき、地域福祉課題の解決に向け、本会が地域福祉活動の総合的な推進役となり、住民だれもが安心して暮らせる地域社会の構築のため「学び合い・遊び合い・支え合う関係づくり」を基本理念として、住民が関わり各種団体と協働して地域に根差した支援活動を展開していきます。

※ 主要事業のみ掲載（重点事業【◎】 新規事業【○】）

<p>1 福祉に関する人材育成と福祉教育の推進</p> <p>1) 福祉サポーター養成の充実 ①傾聴サポーター・コミュニティサポーター養成講座の開催 ②休日のボランティア講座の開催 ③学生ボランティア活動の推進</p> <p>2) 出前福祉教育講座の充実 ①福祉教育・ボランティア推進連絡会の開催 ②福祉教育成果物の作成</p>	<p>2 社会福祉に関する活動への住民参加のための援助</p> <p>◎①地域福祉座談会の実施 ②シニア組織の支援の充実 （シニアクラブリーダー養成講座） ◎③障害者福祉支援の充実 （障害者スポーツ事業の推進） （障害者の居場所づくり事業）</p>
<p>3 社会福祉事業の調査、普及、宣伝、連絡、調整</p> <p>1) 地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実 社協だよりの充実・HPによる広報の充実</p> <p>2) 社会資源マップの整備 社会資源情報（人材・建物・組織）マップの作成</p>	<p>4 住み慣れた地域で安心した生活を送るための事業</p> <p>◎①権利擁護の普及・啓発活動 ○②福祉協力員の地域への配置 ◎③社会福祉協議会会員制度推進事業 ◎④社会福祉充実残高の運用検討 ◎⑤緊急一時支援事業（小口貸付・食糧支援）</p>
<p>5 生活課題への住民支え合い事業</p> <p>◎①学校区地区担当者配置 ②ボランティアセンター機能の充実 ○③災害ボランティア活動研修事業の実施</p>	<p>6 法人の組織・機能強化</p> <p>◎①理事会・評議員会の適正運営と法人運営の強化 ◎②経営の透明性の向上 ◎③地域福祉活動計画の進行管理</p>
<p>7 地域活動への支援</p> <p>◎①コミュニティワークの実践 ②福祉コミュニティ形成モデル事業 ③ソーシャルサポーター制度の推進 ④日本赤十字活動の推進</p> <p>◎⑤赤い羽根共同募金事業の推進 地域住民活動助成事業</p> <p>⑥善意寄付事業の推進 ⑦町内福祉団体の育成・支援事業 （当事者組織10団体） ○⑧社会福祉法人の地域貢献活動の推進</p>	<p>8 受託事業の適正運営</p> <p>①心配ごと相談事業 ②配食サービス事業 ③生きがいデイサービス事業 ④放課後児童健全育成事業 ⑤生活福祉資金貸付事業 ⑥生活困窮者自立支援事業 ⑦多機関協働による包括的支援体制構築事業 ○⑧障害者相談支援事業</p>

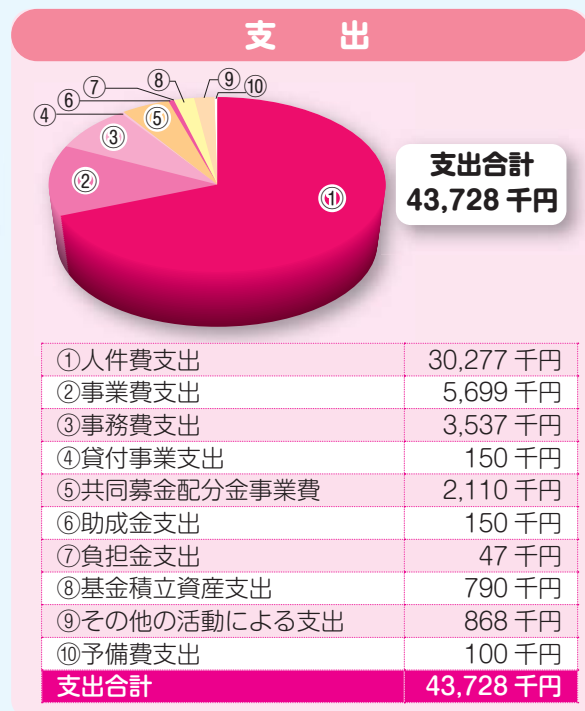
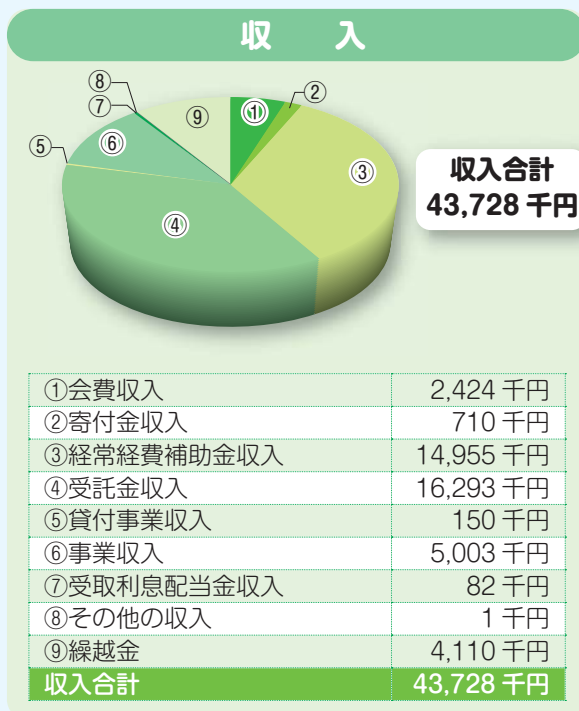
収支予算



(1) 社会福祉事業

①法人運営事業	19,580千円	⑦放課後児童健全育成事業	7,381千円
②すぎのこ基金事業	790千円	⑧生きがいデイサービス事業	200千円
③ボランティア協力基金事業	0千円	⑨心配ごと相談事業	140千円
④生活福祉資金事業	77千円	⑩総合相談事業	11,000千円
⑤共同募金配分事業	2,600千円	⑪相談支援事業	160千円
⑥配食サービス事業	1,650千円	⑩小口資金貸付事業	150千円

総合計 43,728千円



平成29年度社会福祉協議会会員へのご加入をお願いいたします

平成28年度は2,476,300円のご協力をいただきありがとうございました。

市貝町社会福祉協議会とは

社会福祉に関心と理解を持ち、社協の目的や事業をご理解いただき、会費を納めていただくことで地域福祉活動を推進するための支援をいただく方々のことです。

会員の種類と会費

- ・普通会員（各世帯） 600円以上
- ・特別会員（個人） 3,500円以上
- ・賛助会員（企業・事業所） 10,000円以上

会費の使い道

皆様からお預かりした会費は、高齢者・障害者の居場所づくり事業・日常生活支援事業・災害時対応訓練事業・総合相談事業・ボランティア養成事業・福祉教育事業など、様々な地域福祉活動に使われています。

縦と横

前事務局長 檜山 光治

「中島みゆき」は同年代であり、デビュー時からたくさんの歌を聴いていますが、「糸」、「命の別名」「タクシードライバー」「ファイト」等枚挙がありませんが、清少納言に匹敵するほど「ことば」に意味があります。「織りなす布は、いつか誰かの傷をかばうかもしれない。縦の糸はあなた、横の糸は私、逢うべき糸に、出逢えることを、人は、仕合わせと呼びます。」や「命につく名前をこころと呼ぶ」、「タクシードライバー苦労人とみえて、あたしの泣き顔見て見ぬふり」等を聴く度、人生の交差点やソーシャルワークの原点を振り返っています。

「仕合わせ」を、布（家庭・社会）を作る共同作業に、偶然性（出会いの必然性ではない。）の中で、誰かにあって相談を受ける時、主体相互性の中で「こころ」の相互作用（対面）が実感できるところに実践者の原点を考えています。

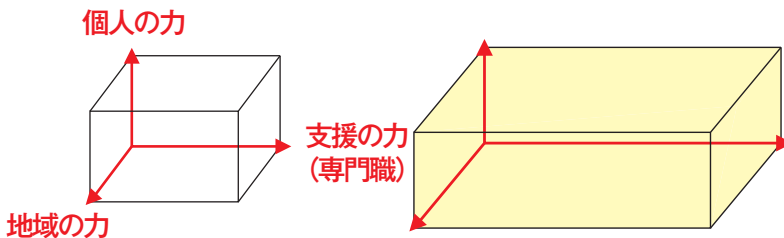
また、「創造価値」「体験価値」「態度価値」の三つの価値を説いている「ヴィクトール・フランクル」は、横の「成功・失敗の軸」で生きるではなく、縦の「絶望・意味」で生きるべきであると言っています。成功を目指して器用に生きるのではなく、自らの深い精神性において生きる意味です。

日本でも森鷗外が「高瀬舟」の中で、羽田庄兵衛と喜助の会話を通して、横の「自分の生き方」と縦の「喜助の生き方」を描いています。

また、夏目漱石の「草枕」の冒頭、「知に働けば角が立つ。……あらゆる芸術の士は人の世を長閑にし、人の心を豊かにするが故に尊い。」と書き、縦の精神と横の出来事を綴っています。

福祉と文学の交差点は多様であり、心の成長と創造性を豊かにすることになります。他にも枕草子、方丈記など数多くの文学作品が、人を支援するところもちの原点を教えてください。

さて、地域福祉を考えたいと思います。（いきなり算数の授業になりました。）



地域福祉＝個人力×支援力×地域力（多様な矢が潜在）

個人力が一定の場合、専門職の支援力や地域の力を引き延ばすことにより、体積がこのとおり劇的に増えてきます。
縦×横は面積です。
縦×横×高さは体積です。

地域は人の住む社会であり、このような算術にはいかないかもしれませんが。でも、絆、つながり、風土、文化、ロケーション等潜在している社会資源が一杯あります。この3本の矢を基本に、いくつもの矢を顕現化するときを考えられない空間が出来上がるのではないのでしょうか。個人力には限界があります。骨身を惜しまない支援力、いくつもの矢が出来上がる地域の力を、布から武者絵のぼりに紡ぐ作業が地域福祉ではないのでしょうか。

全てに関する連絡・相談・お問い合わせ先

社会福祉法人 **市貝町社会福祉協議会**

住所：市貝町市塙 1720 番地 1（市貝町保健福祉センター内）

電話：0285 - 68 - 3151 FAX：0285 - 68 - 3553

H P：http://www.ichikai-shakyo.org/



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されています。